



取締役頭取

ひ) と 厚

GREETING ごあいさつ

皆様には、平素より琉球銀行をご利用、お引き立ていただきまして、誠にありがとうございます。

多くの皆様に琉球銀行をより一層理解していただくために、「琉球銀行の現状」(2018年度中間ディスクロージャー誌)を作成しました。

2018年度上半期の国内経済は、輸出の持ち直しに足踏みがみられたものの、企業収益の改善が続き、雇用環境の着実な改善を通じて個人消費の持ち直しが続いたことから、緩やかに回復しました。

県内経済は、期間後半は相次ぐ台風の襲来や自然災害の影響から入域観光客数が伸び悩むなど一部に一服感がみられたものの、建設が高水準の公共工事と企業の設備投資により概ね好調に推移し、雇用・賃金環境の着実な改善を背景に個人消費も概ね好調に推移したことから、全体としては拡大の動きを続けました。

このような環境のもと、依然として金融機関を取り巻く環境は厳しい環境が続いています。そのような課題に対処するため2017年4月からスタートした中期経営計画「Customer Centric 2017」では「顧客本位の収益モデルの実現」を目標に掲げ、法人向けサービス手数料の拡大やカード加盟店サービスの拡充、生産性向上による経費の圧縮など持続的なビジネスモデルの構築に努めております。琉球銀行は2018年5月1日に創立70周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方の温かいご支援とご協力の賜物と深く感謝申し上げます。今後も琉球銀行の経営理念である「地域から親しまれ、信頼され、地域社会の発展に寄与する銀行」を実践しつつ、地域のお客様とともに発展していくことを目指しております。

2019年1月